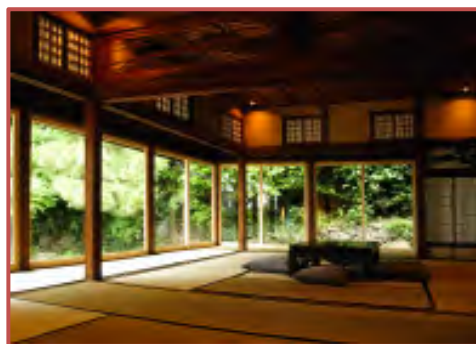


# 14. 観光による地域づくりの取組事例

プロジェクト名	「小値賀(おぢか)らしい暮らし」を活かした観光地域づくり		
主要団体	(株)小値賀観光まちづくり公社	地域	長崎県小値賀町
行政の課題	若者にとって魅力ある職の創出 滞在体験型観光まちづくり	手法	島外からの移住者による観光産業の育成・振興 外国人観光客の積極的な受け入れ

## ＜プロジェクト概要＞

- ・小値賀町では近年急激に過疎高齢化が進行。島の主要産業である農業・漁業の衰退に伴い、職を求める若者が島外へ流出し、次世代の育成ができなかった状況。
- ・そのような状況の中、島外からの移住者らが中心となって、平成19年に「おぢかアイランドツーリズム協会」が設立。若者が島で暮らせる魅力ある職の創出とともに、大人が満足できる滞在体験型観光まちづくりに向けた取組をスタート。
- ・その後、「自然体験活動ツアー」や民泊事業の展開で、島への観光客数は順調に増加。また、事業としてまちづくりを行うため、平成21年に「(株)小値賀観光まちづくり公社」が設立。
- ・海外からの修学旅行生の受入や、国際交流などの活動を推進。国際親善大使派遣プログラム(PTP)を、歓迎委員会を組織して受け入れるなど、積極的に外国人旅行者を受入れており、取組を開始した平成19年以降、外国人旅行者は増加。



古民家をまるごと1棟貸し出し、旅行者が、暮らすように滞在することが可能。



平成19・20年と2年連続で、PTP満足度世界第1位を獲得。

## ＜観光収入と宿泊客数の推移＞



(出典) 観光庁ホームページ(観光地域づくり事例集)、観光庁提供資料より

# 15. 産学官連携等による地域づくりの取組事例

プロジェクト名	IT、デザインなどクリエイティブな人材、事業所の誘致と商店街の再生		
主要団体	特定非営利活動法人 グリーンバレー	地域	徳島県神山町
行政の課題	まちづくり、産業活性、雇用創出	手法	ICT基盤の整備、クリエイティブ人材・事業所の誘致、町に必要な働き手、企業移住者の獲得

## <プロジェクト概要>

- 徳島県名西郡神山町は、人口6千人、山間の人口減少を課題とする町である。優良なICTインフラの環境のもと、特定非営利活動法人グリーンバレーが主体となり、地方自治体の支援策を効果的に活用しつつ、サテライトオフィスの誘致等を主体した「神山プロジェクト」を推進。その結果、ITやデザイン会社の進出が相次ぎ、外部から移り住む人の数が増加。
- また、空き店舗を活用しつつ、町の将来に必要な働き手や事業主を逆指名して起業してもらうことで、積極的に自らの街をデザイン。さらに、誘致により開業したレストランに有機野菜を納入する農家が現れるなど、地域の基幹産業である農業の活性化効果も現れつつある。

### 「神山プロジェクト」

- 場所を選ばない働き方が可能な企業の誘致
  - ・11社がサテライトオフィスを設置、本社移転等
  - ・合計30名新規雇用。3年後までに新たに30名程度の雇用を創出見込み
- 仕事を持った移住者の誘致
  - ・ビストロ、カフェ、パン屋、ピザ屋、靴屋などが次々と開業
- 職業訓練による後継人材の積極的な育成(神山塾)
  - ・6期77名が修了し、うち約50%が移住



空き店舗に町に必要な事業所を誘致することで、これまでに類を見ない商店街に再生



サテライトオフィスでのITエンジニア

# 16. 富山県富山市のコンパクトシティの取組

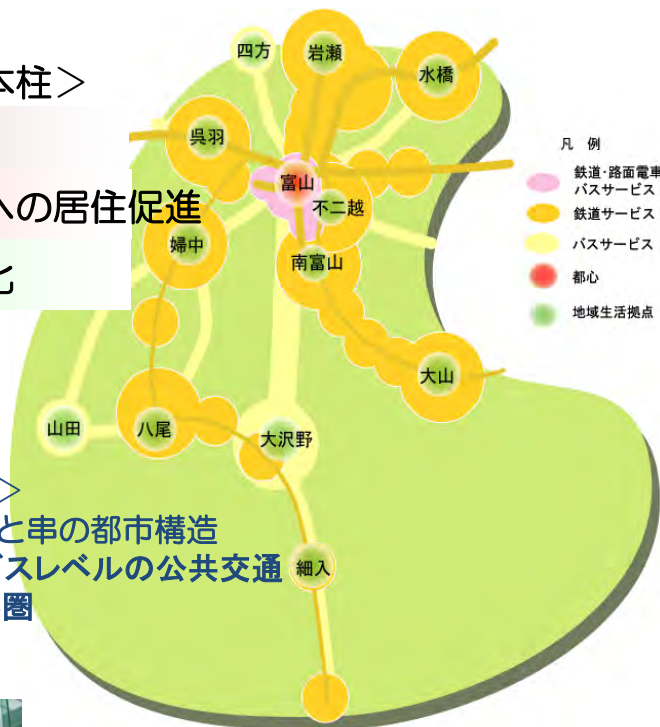
富山市においては、鉄軌道等の公共交通を活性化。沿線に居住、商業等の諸機能を集積させることにより、拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現し、経済の活性化に貢献。

＜実現するための3本柱＞

①公共交通の活性化

②公共交通沿線地区への居住促進

③中心市街地の活性化



＜概念図＞

富山市が目指すお団子と串の都市構造

串：一定水準以上のサービスレベルの公共交通

お団子：串で結ばれた徒歩圏



グランドプラザ



市内電車環状線(セントラム)

## 主な取組

- LRTネットワークの形成（富山ライトレールの整備、市内電車環状線化）
- 公共交通沿線への居住推進事業（共同住宅建設費助成、住宅購入費助成等）
- おでかけ定期券事業（高齢者が中心市街地を行き来する公共交通機関を1乗車100円で利用）
- 全天候型の多目的広場（グランドプラザ）整備

## コンパクトなまちづくりの主な効果

（転入人口の増加）

- 中心市街地や公共交通沿線居住推進地区は平成18年以降転出超過が減少しており、中心市街地では平成20年度から転入超過に転換。

平成25年度の公共交通沿線の居住人口の割合は、市町村合併した17年度と比較して、4.3ポイント増加。

（27.9%→32.2%（市全体比））

（地価の維持）

- 環状線新設区間の沿線の地価は、平成18年度以降、横ばいで安定し税収に寄与。

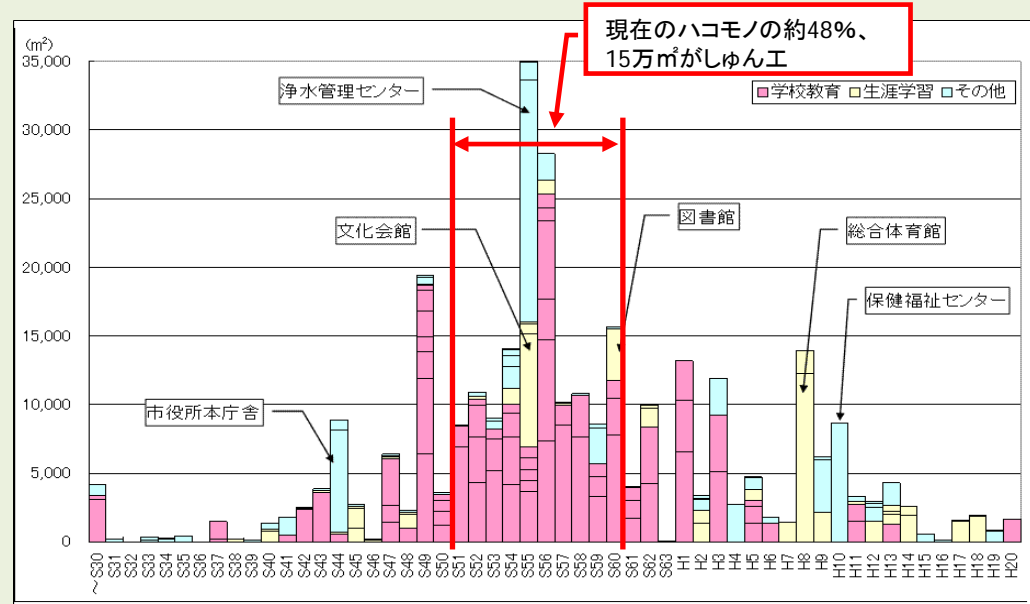
（出典）富山市資料より

# 17. 神奈川県秦野市の公共施設更新問題への挑戦

- 神奈川県秦野市では、公共施設に関する将来の更新需要や財政への影響について市民に対してわかりやすく説明するとともに、更新施設の絞り込み、施設の複合化、公民連携など、今後の財政負担の軽減を図るための取組を推進中。特に、個々の公共施設の所管部署とは別に公共施設再配置推進課を設置し、横断的に取り組んでいることが特徴。
- 具体的な取組事例として、老朽化した保育園について、幼稚園の空保育室を活用して統合・一体化するとともに、その跡地を活用して、障害者地域活動支援センターの社会福祉法人の民設民営の施設への移譲を実施。他にも、PPP手法の活用により、義務教育施設と地域施設を複合化し、多彩な機能を合わせ持つ施設の整備に向けた取組等を推進。

## ○ 秦野市の公共施設の整備状況

昭和40年代から50年代の人口増加に合わせて、公共施設の整備が進み、特に昭和50年代の10年間に、現存施設の約半分が整備。今後十数年から20年後にかけて一斉に建て替える時期が到来し、財政等への影響が懸念された。



## ○ 幼稚園・保育園の統廃合と跡地の有効利用

老朽化した保育園と幼稚園を統廃合して、跡地を社会福祉法人へ賃貸するとともに、福祉サービスを充実。



# 18. NPO等による取組の事例

## ①都市と農山村の地域交流を通じた社会的課題の解決に向けた取組

### 都市部と農山村部が抱える課題

#### 【農山村】

高齢化、離農、行政サービスの低下による地域の崩壊（限界集落）

#### 【都市部】

希薄な人間関係等に伴うストレス・孤立感の増大

### 主な活動内容等

#### NPO法人えがおつなげて

山梨県北杜市において、都市部からのボランティアの手で開墾した農地での無農薬米等の生産、グリーンツーリズムをはじめとした都市農村交流事業を展開。



#### 都市部の民間企業

企業のCSR活動や社内研修活動の一環として、農山村での体験活動を希望

### ○棚田や畑の再生と農園としての活用、農村体験ツアーの開催



再生前



再生後



### ○間伐体験と国産材利活用のためのワークショップ開催



事業における山梨県産材の採用

### 期待される効果

- 農山村地域の自立、誇りの醸成、活性化
- 自然と接することによる心と体の健康・ワークライフバランスの追求、自然保護・環境保全に対する意識啓発

## ②「子育てと仕事の両立が当たり前の社会」の実現に向けた取組

### 子育てを巡る課題

- 子育てと仕事の両立において障害となる「待機児童問題」や「病児保育問題」
- 常態化した長時間労働等に起因する家族のコミュニケーション不足

### 主な活動内容等

- 認定NPO法人フローレンスでは、子育て支援に関するソーシャルビジネスを展開。

#### 【事業例】

- 「病児保育事業」
  - ・突発的な病児保育への対応
  - ・医療機関との提携による医師の往診サービス
- 「小規模保育事業」
  - ・空き住戸を活用したきめ細やかで家庭的な保育
  - ・待機児童問題の深刻な地域にピンポイントで開園
- 「企業等における子育て環境創出事業」
  - ・民間企業を対象とした、社内の働き方の改善・改革に関する講演・研修の実施



- 収入の9割以上が事業収入であり、自立的・継続的な活動を実践。また、財務情報の開示を行い、財務的健全性、経営の透明性を確保。

### 期待される効果

- 子育てと仕事の両立に誰もが挑戦できるしなやかで躍動的な社会の実現